

1. 調査目的

本調査は、芦屋市民のスポーツ活動の実態を総合的に把握し、芦屋市のスポーツ振興に役立つ基礎資料を得ることを目的としている。特色は、成人市民のスポーツ実施と健康・体力に関する詳細な実態を把握できる点にある。さらに、公共スポーツサービスの利用状況とニーズを性別・世代別に明らかにできる点にあり、地方スポーツ推進計画の策定の重要な基礎資料になることである。

2. 調査概要

実施期間：平成 29 年 10 月 1 日（日）～10 月 31 日（火）

調査対象：芦屋市に居住する 20 歳以上の男女 3,500 人

回収率：33.5%（1,174 人）

調査方法：住民基本台帳から系統抽出法

調査項目及び尺度：3 ページ表 1 を参照

分析方法：単純集計及び自由記述の内容分析

自由記述は、個人情報等を考慮し、「一行簡潔法」により言語データを圧縮した。さらに、KJ 法により、言語データを分類・整理した。無回答は欠損値として処理した。

3. 調査内容

1) 運動・スポーツ実施状況：

実施頻度，実施種目，実施時間，実施理由，実施仲間，実施阻害要因，実施希望種目

2) 健康・体力の状況：

健康状態の自己評価，体力の自己評価，健康・体力に関する自覚症状，健康・体力への配慮，健康法，子どもの運動不足とその理由

3) スポーツ行事・クラブへの参加：

スポーツ行事への参加，参加したい地域スポーツ行事，参加したいスポーツ教室，スポーツクラブ・同好会への加入，加入しているクラブや同好会の種目，加入したいクラブ・同好会，「スポーツクラブ 21」への入会状況

4) スポーツ施設について：

体育・スポーツ施設の利用状況，スポーツ施設整備に関する要望，本市にほしい種目の施設，公共スポーツ施設への要望

5) スポーツ情報について：

運動・スポーツ情報のニーズ，運動・スポーツの情報源

6) スポーツ観戦について：

観戦経験

7) スポーツ・ボランティアについて：

スポーツ・ボランティア経験，スポーツ・ボランティア希望

8) スポーツの国際大会について：

スポーツの国際大会への関心，スポーツの国際大会開催に対する態度

9) 障がい者スポーツについて：

障がい者スポーツへの関与，障がい者スポーツのボランティア，障がい者スポーツの普及・推進

10) スポーツ振興について

スポーツ行政への要望，スポーツ推進政策（施策，事業）への意見・要望（自由記述）

4. 研究組織

1) 研究組織のメンバー

研究代表者：山口 泰雄（神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授）

調査協力者：生涯スポーツゼミ院生

青山 将己（神戸大学大学院人間発達環境学研究科博士課程前期課程）

松本 和也（神戸大学大学院人間発達環境学研究科博士課程前期課程）

久保 雄一郎（神戸大学大学院人間発達環境学研究科博士課程前期課程）

2) 連絡先

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11

神戸大学発達科学部 山口泰雄研究室

Tel&Fax:078-803-7734 E-mail: yasuo@main.h.kobe-u.ac.jp

表1 サンプルの属性

		%	n			%	n
性別	男性	39.6	447	障害者手帳	持っている	4	38
	女性	60.4	681		持っていない	96	912
年代	20歳代	6.1	70	婚姻	未婚	15.8	181
	30歳代	9.2	106		既婚	84.2	964
	40歳代	21.3	246	居住形態	単身(あなた一人)	10.9	126
	50歳代	20.5	237		夫婦のみ	34.4	397
	60歳代	20.8	241		(あなたと配偶者のみ)	48.5	560
	70歳以上	22.1	256		二世世代家族	3.5	40
					三世世代家族	2.7	31
			その他				
職業	農林漁業	0.1	1	居住歴	1年未満	5.1	59
	自由業・商工自営 (家族従業員を含む)	9.7	112		1年～5年未満	17	197
	勤め人 (正規の社員・職員)	27.7	320		5年～10年未満	15.9	184
	勤め人 (嘱託, パート, アルバイト等)	16.6	191		10年～20年未満	28.5	329
	家事専業	22.4	259		20年以上	33.5	387
	学生	2.2	25				
	無職	17.9	207				
	その他	3.4	39				